

皆様の暮らしに安心と活力をお届けする情報紙

クリンパ

くりーんぱーく便り

株式会社門前クリーンパーク 輪島市門前町剣地口1番地 TEL.&FAX.0768-45-1820

January vol.16 たよ

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

皆様には、よき新春を迎えたことと心よりお慶び申し上げます。旧年中は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年の石川県は、北陸新幹線長野・金沢間開業に続き、美しい能登の風景を描いたNHK朝の連続テレビ小説「まれ」の放送、若葉の頃は天皇皇后両陛下をお招きしての全国植樹祭など、話題に事欠かない一年となりました。イベントに連動して、能登・加賀の誇る自然や伝統美・食文化など、さまざまな石川の魅力が内外に発信され、テレビの話題にのぼらない日はないくらいでした。

総合環境企業を目指す私たちタケエイグループは、新しい取り組みとして、青森県平川市においてこの冬バイオマス発電所の営業運転を開始いたしました。これは、近隣の森林から排出される間伐材や、津軽地方特産のりんご栽培で生じた剪定枝を燃料として、電気を作り、その電気を地元を中心に供給していくこうというもので、地元の森林事業者をはじめとする皆さん、自治体、民間事業者である私たちが一体となつて進めてまいりました。

現在、平川市は、再生可能エネルギーの積極的な導入と、ITなど先端技術を駆使した街全体の電力有効利用、省資源化を徹底した環境配慮型都市「スマートシティ」の実現に向けた構想作りを進めています。私たちもメンバーの一員として、発電工程で生じる排熱の有効利用など新たな技術開発に取り組んでまいります。

門前クリーンパークの事業化に向けては、タケエイグループの一員として、地元経済への貢献や環境保全にいつそう取り組んでまいります。また、計画と運営の透明性を確保し、より安心・安全な体制を築いてまいります。

本年も皆様のご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



株式会社門前クリーンパーク
代表取締役社長

三本 守



白米千枚田 元気に稻刈り体験



▲▶爽やかな秋空の下、稻刈りに励む参加者



▲千枚田をライトアップ。夜間でも美しい千枚田が一望できます



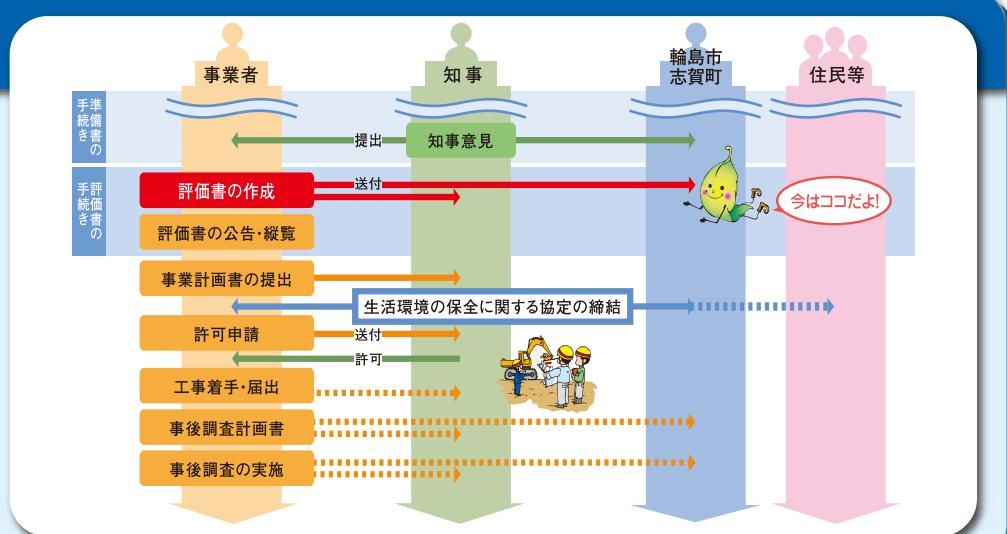
NHK朝の連続テレビ小説や北陸新幹線の開通で、どつと観光客の増えた能登地区ですが、季節も巡り秋晴れとなった9月22日、毎年恒例の白米千枚田の稻刈りに参加しました。たわわに実った稲穂が黄金色に輝く棚田にて、地元の方々や千枚田オーナーの方々と、慣れない手つきで稻刈りを体験しました。



環境アセス準備書の知事意見を受領

「ふるさと石川の環境を守り育てる条例」に基づく「門前クリーンパーク建設事業」の環境アセスメント手続きは、平成27年9月3日に本件準備書に関する3回目の石川県環境審議会環境影響評価部会が開催され、知事への答申内容が確認されました。これを受け、9月25日に石川県知事より準備書に対する「知事意見」が出されました。

現在弊社では、評価書の手続きに向けた準備を進めています。



環境省主催 第1回 エコ・ファーストシンポジウムにて発表

平成27年11月25日に東京で開催されました、環境省エコ・ファーストシンポジウムにて、エコ・ファースト認定企業のうち9社が「低酸素社会～エコ・ファースト認定企業の挑戦～」と題して発表を行いました。門前クリーンパークの構成会社であるタケイと大成建設も、認定企業として発表を行いました。

1. 株式会社タケイの発表

タケイは、これまで、お客様・生産者・グループ会社とともに、廃棄物を減らしリサイクルを進める活動を続けてきました。再生エネルギー事業にも積極的に取り組んでおり、建設現場で回収された廃棄物の中から、平成16年には廃木材を燃料とするバイオマス発電の枠組みづくりを、同業数社や三井造船とともにはじめました。

平成27年12月には、津軽地方の豊かな森で発生する間伐材や、名産品のりんご栽培で生じた剪定枝を燃料とするバイオマス発電が開始されます。これらは今まで「いらないもの」として取り扱いに困っていたものでしたが、これからは自然にやさしいエネルギーを創る燃料として有効活用されます。地元の未利用木材を使って作られた電気は、地元を中心に供給していく予定となっており、「エネルギーの地産地消」が実現します。

この発電計画は、FIT法*を活用することで20年間という長期的な事業の展開が可能となっており、この事業に関わるすべてのステークホルダーと一緒に、森の育成やCO₂削減といった自然保護・環境保全とあわせ、地域活性化へも積極的に貢献してまいります。



▲(株)津軽バイオマスエナジー全景
(左側は津軽バイオチップ(株))

◆りんご剪定枝の搬入

* 電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法

2. 大成建設株式会社の発表

大成建設は、平成26年6月に技術センター（神奈川県横浜市戸塚区）に、建物単体で年間の1次エネルギー収支がゼロになる「ZEB実証棟（ZEB:ゼロ・エネルギー・ビル、Zero Energy Building）」を完成させました。

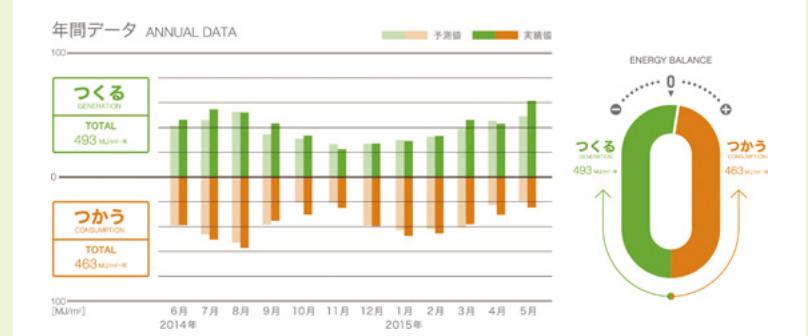
平成26年6月から27年5月までの1年間で、エネルギー消費量は一般的な建物の1/4程度となる463MJ/m²・年、創エネルギー量は493MJ/m²・年となり、建物単体での年間エネルギー収支0（ゼロ）を達成しました。ZEBの達成は国内都市部における単体建物として初であり世界的にも希少な先進事例です。

この技術は環境大臣表彰を受けるなど、国内外から高い評価を得ました。

これらの実績をもとに平成32年に「市場性のあるZEBの実現」を目指しています。今後は、都市部を含めた全国で計画が予想されるZEB指向建物の提案活動を推進し、地球温暖化防止や、省エネルギーに貢献してまいります。



▲ZEB実証棟



エネルギー収支年間データ

お問い合わせ

株式会社門前クリーンパーク

〒927-2342 石川県輪島市門前町剣地口1番地

TEL.&FAX. 0768-45-1820

<http://www.takeei.co.jp/mzcp/>

皆様のご意見・ご感想をお寄せください。



この情報紙は、株式会社門前クリーンパークが、印刷プロセスで使用する2.34kgのアルミ板をリユースする事で、CO₂排出量を23.81kg削減しました。

株式会社日本スマートエナジー 当CO₂削減認証は株式会社日本スマートエナジーがこの印刷システムを審査・確認して与えられたものです。



マイクスカーボンプリティングシステム



ミックス品
FSC登録番号: JPE-00000000
森林からの製品グレード
www.fsc.org Cert no. SGS-COC-
© 1996 Forest Stewardship Council

